



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人 五輪橋整形外科病院	階数	地下1階 地上4階
建設地	札幌市南区川沿2条1丁目18-56,-57,-58,-59,-62の内,22-3,-4,23-5,-6の内	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	287 人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2022年2月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	2,677 m ²	評価の実施日	2019年5月14日
建築面積	1,628 m ²	作成者	
延床面積	5,313 m ²	確認日	2019年5月15日
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★ B-

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 91%

③上記+②以外のオンサイト手法 91%

④上記+オフサイト手法 91%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価
建物全体の[BEI][BEIm]= 0.89

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.2

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.6

LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.1

3 設計上の配慮事項	
総合 既存建物位置と配棟を変えないようにし、今までの雰囲気と変化が無いよう配慮した。	A 省エネルギー 節水型衛生器具の採用。省エネ法届出済。
B 省資源等	C 緑化 「札幌市緑の保全と創出に関する条例」に定められた緑化率20%を確保。
	D 雪処理 既存ロードヒーティングをそのまま活用する。

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用		LEED認証	なし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 医療法人 五輪橋整形外科病院

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質								2.2
Q1 室内環境				0.40		-		2.5
1 音環境			2.1	0.15	2.8	1.00		2.2
1.1 室内騒音レベル		目標とする騒音レベルによる評価を行った	3.0	0.40	5.0	0.40		
1.2 遮音			1.8	0.40	1.6	0.40		
1 開口部遮音性能			3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			1.0	0.60	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	1.0	0.20		
1.3 吸音			1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境			2.8	0.35	2.7	1.00		2.8
2.1 室温制御			2.7	0.50	2.5	0.50		
1 室温			3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能	省エネ		2.0	0.25	2.0	0.43		
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境			1.7	0.25	2.5	1.00		1.8
3.1 昼光利用			1.8	0.40	1.8	0.40		
1 昼光率			1.0	0.60	1.0	0.60		
2 方位別開口				-		-		
3 昼光利用設備	省エネ		3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策			1.0	0.40	3.0	0.40		
1 昼光制御	省エネ		1.0	1.00	3.0	1.00		
2 映り込み対策				-		-		
3.3 照度			3.0	0.20	3.0	0.20		
3.4 照明制御			-	-	-	-		
4 空気質環境			3.1	0.25	2.7	1.00		3.0
4.1 発生源対策			3.0	0.50	3.0	0.63		
1 化学汚染物質			3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気			2.0	0.30	2.3	0.38		
1 換気量			1.0	0.50	1.0	0.33		
2 自然換気性能				-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理			5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				-		-		
2 喫煙の制御		敷地内全て禁煙	5.0	1.00		-		

Q2 サービス性能			0.30	-	-	2.8	
1 機能性			3.1	0.40	3.4	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			4.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)		病室天井高 H=2.5m		-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	
3 内装計画		機能毎の要求を満たしつつ、内装材や照明計画を一体で計画	4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理			2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		省資源	2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				2.4	0.30	2.1	1.00	2.3
3.1 空間のゆとり				2.2	0.30	2.2	0.50	
1 階高のゆとり				3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				1.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				2.0	0.30	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.1
1 生物環境の保全と創出		緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑化		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		雪処理		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	2.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI _m =0.74、BEI _m =0.89	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		省エネ		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネ	[BEI][BEI _m] = 0.89 -	2.5	0.50	-	-	2.5
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		省エネ		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング		省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		省エネ		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		省資源	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		省資源	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		省資源		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		省資源	躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		2.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.1
1 地球温暖化への配慮	省資源	評価シートによる自動算出	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			1.6	0.33	-	-	1.6
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 蓄熱処理		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			1.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		2.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄熱処理		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			1.6	0.33	-	-	1.6
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1 騒音			-	-	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.67	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.33	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	0.5	BEEランク	B ⁻
建物名称	医療法人 五輪橋整形外科病院				
建物用途	病院				
延床面積	5,313.2 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー		
	省資源等		
	緑化		
	雪処理		

★1=スコア(最低点~最高点)20%以下
 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下
 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下
 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下
 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー (最高点 23.8 最低点 6.8)		合計		13.1点 / 23.8点	
Q1 温熱環境	スコア	0.4 / 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0 / 4.0
Q1 光・視環境	スコア	0.9 / 2.8	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 / 2.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	5.0 / 10.0
			LR1 効率的運用	スコア	1.6 / 4.0
B 省資源等 (最高点 23.9 最低点 7.7)		合計		12.0点 / 23.9点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.5 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.7 / 9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.1 / 1.9
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.3 / 5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5 / 4.6
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計		3.5点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5 / 2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	1.2 / 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 / 2.3			
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計		0.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0 / 2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数